

## 今月のトピックス

- ✓ 津山市人づくり事業 市民公開講座 開催報告
- ✓ OTEX出展・まちカレ周年イベント 開催報告
- ✓ 企業PR会 開催報告・C'snet活動についての紹介
- ✓ Homing DAY-4・津山ロボットコンテスト開催のお知らせ
- ✓ 『恐れながら、寸刻拝借』来島コーディネーターのコラム Vol.3
- ✓ 12月～1月 役に立つイベント等のご案内



## 津山市人づくり事業「市民公開講座」を開催 — 日本理化学工業・大山隆久氏が語る“働く幸せ”と職場づくり —

令和7年11月29日(土)、グリーンヒルズ津山リ  
ージョンセンター ペンタホールにおいて、津山  
市人づくり事業運営委員会主催 市民公開講座「  
働く幸せを実現した町工場 ～社員から教わった  
こと～」を開催しました。当日は市内外から75  
名の方がご参加いただきました。

国内シェア7割を超える環境にも配慮したダ  
ストレスチョークやガラスや壁に描いても水で  
消せる絵具のkitpas製品を製造販売している昭  
和12年創業の日本理化学工業株式会社 代表取  
締役社長 大山隆久氏を講師にお招きしました。

社員の約7割を知的障がいのある方が占める  
企業として知られており、過去に24時間テレビ  
でも紹介された日本理化学工業。“誰もが働き  
やすく成果を上げられる職場づくり”の取り組  
みを具体的に紹介していただきました。色分け  
バケツや砂時計を用いた工程の可視化、理解度  
に応じた目標設定、「ほめる6S」など様々な仕  
組みを取り入れ、社員一人ひとりの特性に合わ  
せて全社員の業務効率化の成功事例を伺いまし  
た。

大山氏は、障がいのある社員との共働を通じ  
て「人は誰かの役に立つことで存在意義を実感  
し、働く喜びが生まれる」と述べ、同社が掲げ  
ている4つの約束『①身の回りのことを自分で  
行う、②意思表示とあいさつ、③一生懸命働く  
④周囲へ迷惑をかけない』や年間スローガンの  
取り組みを紹介いただき、また社員の自律性と  
成長を支える仕組みづくりの重要性をお話し  
いただきました。また、「ありがとうをたくさん  
伝えられる場所をつくるのが社長の仕事」と  
語られました。

講演聴講者からは、「共生社会の実現へ向  
けた企業の実践例として大いに参考になった」  
「ユニバーサルデザインの考え方は自社の業務  
改善にも応用できる」といった声が寄せられま  
した。職場づくりの視点だけでなく、働く意味  
や幸福について考える機会として高い評価を得  
ました。

本講座は、津山市が推進する人づくり事業の  
一環として開催されたものであり、今後も地域  
の企業・市民が共に学び、持続可能な社会参加  
の形を考える機会を企画してまいります。



## おかやまテクノロジー展 共同出展

令和7年11月12日(水)・13日(木)の2日間、中四国最大級のものづくり展示商談会「おかやまテクノロジー展 (OTEX) 2025」がコンベックス岡山で開催され、津山ステンレス・メタルクラスター事務局は、会員企業4社と共同出展を行いました。今年は過去最高となる延べ13,392名が来場し、会場は多くの企業関係者や学生で活気にあふれ、2日間を通じて活発な商談・情報交換が行われました。各ブースには、金属加工業者を求めて来場した企業担当者をはじめ、工業系高校生や若手技術者など幅広い層が訪れ、津山地域の金属加工技術や各社の製品・強みについて多くの関心が寄せられました。

展示会では、最新版の「津山ステンレス・メタルクラスター ガイドブック」を来場者へ配布し地域の高い金属加工技術力と会員企業の特徴を広くPR。津山地域のものづくり産業の競争力と連携体制をアピールする絶好の機会となりました。今後も地域産業の魅力発信と企業間連携の強化に取り組み持続的な産業発展に貢献してまいります。



## 津山まちなかカレッジ8周年記念イベント つやまロボットコンテストPR

令和7年11月30日(日)、アルネ・津山4階 地域交流センターにて「津山まちなかカレッジ8周年記念イベント～まちカレ・学びのフェスティバル」を開催しました。

まちカレブースには焼き菓子やお弁当の出店、ワークショップや科学実験、ミマダインヒーローショー、タロット占い体験、インド式ヘッドケア体験会などがあり、多数のお客様でにぎわいました。

「つやまロボットコンテスト」展示コーナーでは、玉入れ競技用ロボットの操作体験を実施しました。親子連れを中心に約100名の子どもたちがロボット操作を体験していただきました。実際にロボットを触り、操作することでものづくりの楽しさを直感的に伝え、今後のロボコンへの参加意欲向上にもつながる取り組みとなりました。



## 津山高専技術交流プラザ

### 企業PR会を開催

津山高専技術交流プラザでは、津山高専の学生が会員企業の事業内容、製品、技術等を知ること、地域の企業に関心を持つとともに、産学交流を図ることを目的として、令和7年12月2日(火)・3日(水)に津山高専第2体育館で「企業PR会」を開催しました。

今回は、過去最高となる会員企業72社が出展し、各社独自の説明・展示で学生に対してPRを行い、両日で延べ317名の学生が参加しました。

参加した学生は、企業ブースでの説明を熱心に聞くだけでなく、活発な質疑応答や意見交換を行い、自身の今後の研究や技術開発に対する意欲を大きく高めたことと思います。参加企業にとっても、自社の技術や事業を直接学生に伝える絶好の機会となり、将来的な共同研究や地域産業の活性化につながる貴重な機会となりました。



## C'snet × 津山商業高校

### 企業CM制作企画 いよいよ来月発表！

令和7年5月より始動したC'snetと津山商業高校生徒による企業CM制作企画。いよいよ来月1月に制作発表となりました。以下の日程で開催いたします。是非、生徒が制作したCMをご覧ください。

日時：令和8年1月16日(金) 13:30～15:00 予定  
場所：作州民芸館（津山市西今町18）



岡山県北の事業アイデア創出コミュニティ  
Homing。

DAY-4 では株式会社エーゼログループ 代表  
取締役CEO 牧 大介 氏を講師にお招きします。  
森林・林業、山村に関わる新事業の企画・プロ  
デュースなどを手掛けてきた牧氏に地域課題を  
成長に変えるヒントを学びます。

【日 時】12月12日(金) 講演会 18:30~  
交流会 20:00~

【会 場】INN-SECT (津山市二階町29)

【料 金】1,000円 (交流会参加の場合は  
2,000円) 学生無料

【申込先】HP <https://homing-tsuyama.jp>



12月14日(日)、第30回記念大会つやまロボッ  
トコンテストを開催いたします。

今年の競技内容は、「玉入れロボコン」です。  
学生たちの熱い戦いをぜひご覧ください。

今回は30回を記念し、様々なイベントも同時  
開催いたします。実物大パトレイバーのデッキ  
アップ、自衛隊・警察などの車両展示、津山東  
高校・美作大学による製菓等の販売、10台以上  
のキッチンカーなどが立ち並ぶしたクリスマス  
マルシェとなっております。皆さまお誘いあわ  
せの上、ぜひお越しください。

【日 時】12月14日(日) 開会 9:30  
閉会 15:00

【会 場】津山総合体育館

【問合せ】ザ・チャレンジ実行委員会

【電 話】0868-24-0740



## コラム『恐れながら、寸刻拝借』 Vol.3

地域おこし協力隊でICTコーディネーターの来島です。  
ITバブルの時期、ちょっと変わった話が楽しくて、キャリア度外視でし  
ばらく派遣SEをしていました。その当時のお話。



ICTコーディネーター  
来島 克也

### リマインダの使い道

「昨日は結婚記念日だったのに！」  
【朝帰り旦那 vs 泣激の嫁】



そんな昭和の風景も、今は昔。  
携帯電話やPCのリマインダ機能のによって  
「忘れる」という行為そのものを回避できる  
時代になりました。一説によれば、一般家庭  
に最も早く浸透したデジタル機能は計算でも  
編集でもなくリマインダ機能だと言われてい  
ます。

時刻と予定を示す。今となっては当たり前  
の機能ですが、止まったら大変です。

- ・レアな予定の[夏休みの登校日]
- ・繁忙で忘れがちな定例の[各種振込]
- ・うっかりでは済まされない[免許更新]、な  
ど。

それが通知されないだけで、生活動線は一  
気に乱れる。リマインド機能は「便利」とい  
うよりすでに日常の動作環境の一部なのかも  
しれません。

ちなみに、記念日や誕生日のおすすめ設定  
は、**毎年繰返す予定に一週間前と当日の朝の**  
2回通知の合せ技。ポイント稼ぎのいいチャ  
ンスです。

### リマインダでナンマイダ？

一方で、ITとは無縁そうなお寺。  
通称「お寺システム」の設定に  
伺ったのは約20年前のことです。

檀家（市場）の激減で、絶対に取り  
こぼせなくなった各種法要。

入力された檀家さんのデータから、回忌法要のお  
伺い手紙をご住職が出すためのリマインダが主な  
機能でした。

それが令和の今、お寺DXシステムに超進化。

- ・ハガキの自動筆書
- ・メール、LINEでの自動連絡
- ・依頼と入金管理
- ・卒塔婆の自動印字
- ・仏花の自動注文・・・などなど。

周辺業務をほぼ一元化&自動化し、ご住職はそれ  
らを持ってご訪問するだけという徹底っぷり。  
あとはアンドロイド住職が自動訪問するようにな  
るだけです。ありがたみはないけれど。



お寺以上にDXに関係のない業界の方にはぜひご  
連絡ください。一緒に何をすればよいのか、無  
い知恵を絞らせていただければと思います。



会場：津山商工会議所  
津山商工会館 3 階  
毎週月曜日 11:00～19:15

●お問い合わせ先（予約）  
岡山県よろず支援拠点  
TEL 086-206-2180



INPIT 岡山県  
知財総合支援窓口

会場：つやま産業支援センター  
津山市役所東庁舎  
毎月第 4 水曜日 10:00～15:00  
(オンライン相談対応可能)

●お問い合わせ先（予約）  
岡山県知財総合支援窓口  
TEL 086-286-9711



## 役に立っイベント等のご案内



日 程	イ ベ ント 名	概 要	時 間	会 場	問
12 月	12(金) Homing2025 DAY-4	エーゼログループ 代表取締役CEO 牧 大介氏をお招きし、地域改題を成長に変える、ローカルゼブラ企業の取り組みをご紹介します。	18:30～21:00	INN-SECT	①
	14(日) 第30回 津山ロボットコンテスト	小中学生の部、高校一般の部別に各チームごとに制作したロボットで玉入れ対戦を行います。当日はクリスマススマルシェ等併設イベントも企画しています。	9:30～15:00	津山総合体育館	②
	15(月) 製造現場リーダーのための 改善力強化コース	講義とディスカッション、演習を通し、具体的に改善を進める上での「優先順位」や「科学的根拠に基づく分析手法」など、現場リーダーとしての改善力を学びます。	9:30～16:15	テクノサポート 岡山	③
	16(火) クレーム対応力 「初動対応の重要性を学ぶ」	クレーム対応のステップを学び、「対面」「電話」「メール」、それぞれの方法での対応の仕方やポイントを学びます。	9:30～16:15	テクノサポート 岡山	③
	17(水) データサイエンス入門講座	データサイエンスの基本と具体的な手法を学び、実践力を身につけ、業務への展開方法を習得します。	9:30～16:15	テクノサポート 岡山	③
	24(水) 岡山県知財総合支援窓口 津山サテライト窓口	中小企業の知的財産(知財)の悩みや課題に対応します。	10:00～15:00	津山市役所 東庁舎	④
1 月	20(火) 21(水) マシニングセンタ加工技術	プログラミングの基礎知識がある方を対象に、部品加工、治工具製作においてマシニングセンタの段取りから加工、効果的な加工技術を学びます。	9:30～16:30	中国職業能力 開発大学校	③
	27(火) 決算書の読み方と使い方講座	会社の仕組みの理解に基づいたロジックを学び、それに基づき会計処理の本質を身につけます。	9:30～16:15	テクノサポート 岡山	③
	28(水) さらなる活躍を！ 「年上部下・ベテラン社員の 活かし方」研修	双方向の信頼関係を築き、モチベーションを持たせチームの生産性向上や職場風土向上を目的とし、グループワークや討議を多めにする事で、他の受講者と課題や学びを共有します。	9:30～16:15	テクノサポート 岡山	③
	28(水) 岡山県知財総合支援窓口 津山サテライト窓口	中小企業の知的財産(知財)の悩みや課題に対応します。	10:00～15:00	津山市役所 東庁舎	④
	29(木) リーダーが実践する 職場の良好な関係性づくり	上司・先輩社員として、部下や後輩がのびのび育ち、気持ちよく働ける環境づくりを学びます。	9:30～16:15	テクノサポート 岡山	③

### お問い合わせ先

①レプタイル(株) TEL 0868-35-2405 ②つやま産業支援センター TEL 0868-24-0740  
③岡山県産業振興財団 TEL 086-286-9661 ④岡山県知財総合支援窓口 TEL 086-286-9711

### 編集後記

つやまビジネス通信を制作しております、西村です。日頃よりお目通しいただきまして有難うございます。  
私事ですが、前身であるつやま新産業創出機構の解散、当センターの発足から今日まで11年5ヶ月の間、つやま産業支援センターの一員として携わってまいりました。  
当通信は、センター設立準備期間の平成27年1月より当時の小坂統括マネージャーの下で発信をスタートし、今号で135号を迎えました。今後も事業者様へ少しでもお役に立つ内容を目指して発信してまいります。改めて当センター、ビジネス通信等についてご意見・ご感想等ございましたら下記までご連絡いただけましたら幸いです。  
これからも当センターは、意欲のある地域事業者のチャレンジを支援してまいります。引き続きどうぞよろしく願いいたします。

